

分子の大小（その3）

【定義】通分：複数ある分数の分母をそろえること

【定義】倍分：分母と分子に同じ数をかけること

【定義】規約分数：1以外で約分できない状態の分数

これから出てくる例題1で、通分を使って分母をそろえる。その次の例題2では倍分して、分子をそろえる。規約分数に関しては、問われたときに答えをそれ以上約分出来ない状態にしておけば問題ないはずです。

【例題1】

$\frac{1}{3}$ より大きくて、 $\frac{3}{7}$ より小さい分母が21の分数を求めなさい

《解答》

（まず分母が21なので、問題文の2つの分数を分母が21になるように通分する）

$$\frac{1}{3} < \frac{3}{7} \Rightarrow \frac{7}{21} < \frac{9}{21} \Rightarrow \frac{7}{21} < \frac{9}{21} < \frac{9}{21}$$

分母を21にそろえて、分子を比べると $7 < \underline{\quad} < 9$ となる

7と9の間の数字が答えとなるので

答え： $\frac{8}{21}$

【例題2】

$\frac{1}{2}$ より大きくて、 $\frac{7}{9}$ より小さい分母が18の分数を求めなさい。

またその中で、既約分数になる数はどれですか。

《解答》

（まず分母が18なので、問題文の2つの分数を分母が18になるように通分する）

$$\frac{1}{2} < \frac{7}{9} \Rightarrow \frac{9}{18} < \frac{14}{18} \Rightarrow \frac{9}{18} < \frac{14}{18} < \frac{14}{18}$$

分母を18にそろえて、分子を比べると $9 < \underline{\quad} < 14$ となる

9と14の間の数字が答えとなるので

答え： $\frac{10}{18}, \frac{11}{18}, \frac{12}{18}, \frac{13}{18}$ 既約分数は $\frac{11}{18}, \frac{13}{18}$